

第5学年家庭科学学習指導案

日 時 平成16年9月22日(水) 5校時
児 童 5年1組 男17名女15名 計32名
場 所 家庭科室
指導者 宮古市立千徳小学校
教 諭 佐野久美子

1 題材名 作って楽しく使おう

2 題材について

(1) 題材観

小学校学習指導要領家庭科の内容には、『(3)生活に役立つ物を製作して活用できるようにする。ア、布を用いて製作する物を考え製作計画を立てること。イ、形などを工夫し、手縫いにより目的に応じた簡単な縫い方を考えて製作ができること。また、ミシンを用いて直線縫いをすること。ウ、製作に必要な用具の安全な取り扱いができること。』と示されている。

この内容は、これまで他教科で扱ってきた紙など他の材料と布の扱いの違いや特性に気付き、布の使い方を考え、自分が製作する物を構想していく。そして、目的意識を持って製作することによって、衣生活への関心を持つことをねらいとしている。

本題材では、材料である「布」に目をむけ、布の特徴を体験的に知らせる。この体験を実際の製作活動に生かすことにより、必要な技能を意欲的に身に付けることができると考える。また、自分の作った物を実際の生活に活用して、作り方を見直したり、家庭からの感想を聞いたりして、さらに家庭生活をよりよくしていこうとする意欲に結びつけたいと考え、本題材を設定した。

(2) 児童観

子どもたちは第5学年で新しく始まった家庭科の学習をとて楽しみにしており、意欲的に取り組んでいる。1学期の単元「私にできることは」では手縫いの基礎を学習し、簡単な小物を製作する活動を通して、ほとんどの子どもが布を使って作ることに興味を持ち、「もっといろいろなものをつくってみたい」という意欲を持たせることができた。

しかし、子供たちの家庭での生活経験には大きな差があり、家庭からの働きかけが少ない子どもも多い。

布を使った製作でも、針と糸を使ったことのある子どもは少なく、1学期の学習で、初めて針と糸を使った子どもが多かった。また、家庭の中で布で製作される過程を見ても少ないため、布をどのように使えば立体的なものが作られるかなど気づいていないことが多い。ミシン縫いについては、興味を持っている子どもが多いが、実際にミシンの動く場面を見たことのない子どもが多く、ミシンと手縫いの違い、ミシン縫いのよさについて知っている子どもは少ない。

子どもたちの意欲を持続しながら、製作の活動を通して、家庭生活へも興味を持たせていくことが大切であると思われる。

(3) 指導観

子どもたちは、「私にできることは」において針と糸を使って簡単な手縫いの方法を学習し、フェルトを使って小物作りを行った。ここでは、さらに布を使って小物作りに取り組んでいくために、布の特徴をつかませ、ミシン縫いの技能を習得させることにより、製作の幅を広げさせていきたい。

そこで、布の特徴を調べることを通して、布により肌触り、伸縮性、厚さなどが違うことに気付かせ、家庭生活の中でたくさんの布がその用途に応じて使われていることを考えさせる。そして、自分で作りたい物を決め、その製作手順を考えさせ、自分なりに工夫をさせたい。さらに、手縫いより効率の良いミシン縫いの方法があることを知らせ、製作への意欲を持たせたい。

ミシンの扱いに関して、はじめての学習となるので、一人一人の技能に応じて丁寧に指導にあたりたい。また、活動にあたっては、自己評価、相互評価を取り入れ、自分ができるようになったことをとらえさせ、意欲の高揚を図りたい。

3 題材のねらい

- ・身の回りで使われている布の性質や特徴に関心を持ち、生活に役立つ小物を製作しようとする意欲を持つことができる。 【家庭生活への関心・意欲・態度】
- ・作る物を決め、製作計画を考えたり、自分なりに工夫したりすることができる。 【生活を創意工夫する能力】
- ・ミシン縫いで、生活に役立つ物の製作をすることができる。 【生活の技能】
- ・布の特徴や性質を理解し、ミシンの安全な使い方がわかる。 【家庭生活についての知識・理解】

4 題材の指導計画と評価規準 (13時間)

小題材名 指導項目	時間	家庭生活への 関心・意欲・ 態度	生活を創意工夫 する能力	生活の技能	家庭生活に ついての知識・理解
布を見てみよう ・布の特徴	1 本 時	・身の回りで使われている布に関心を持ち、生活に役立つ小物を製作しようとしている。	・布の特徴の調べ方を自分なりに考えている。		・布には特徴があり、その特徴を生かして使用されていることを理解している。
布で作ってみよう ・ミシン縫い ・小物製作	4 7	・ミシン縫いに関心を持ち、ミシンの使い方の学習に意欲的に取り組んでいる。 ・小物作りに意欲的に取り組んでいる。	・作る物を決め、製作計画を考えたり、自分なりに工夫しようとしている。	・ミシンの安全で正しい取り扱い方ができる。 ・ミシン縫いで、生活に役立つ物の製作をすることができる。	・ミシンの安全な使い方を理解している。
小物を楽しく活用しよう。 ・作った物の活用	1	・作った物を家庭生活中で活用しようとしている。	・活用してみ、良いところ、直したいところを自分なりに考えようとしている。		

5 本時の指導

(1) 目標

- ・身の回りで使われている布に関心を持ち、生活に役立つ小物を製作しようとする意欲を持つことができる。 【家庭生活への関心・意欲・態度】
- ・布の特徴の調べ方を自分なりに考えることができる。 【生活を創意工夫する能力】
- ・布には特徴があり、その特徴を生かして使用されていることがわかる。 【家庭生活についての知識・理解】

(2) 展開

段階	学 習 活 動	支 援 と 評 価 評 価	資 料 等
導入 10	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">布について発見しよう。</p> <p>2 課題解決の方法について見通す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さわってみる ・折ってみる ・のばしてみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・前単元で製作した小物を提示しながら、紙と布の違いについて話題にする。 ・事前のアンケートをもとに布は他に、どんなところで使われているか話し合わせる。 ・布の特徴を調べる方法を確認する。 ・それぞれの布の違いを予想させる。 布の特徴の調べ方を考えることができたか。【創意工夫】(学習プリント・発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェルトの小物 ・紙 ・布でできた物(運動着、シャツ、フェルトの小物、洋服ボタン、ジーンズ、ハンカチ) ・学習プリント
展開 25	<p>3 課題解決をする。</p> <p>(1) 布を観察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ方法で、それぞれの布を観察する。 <p>(2) 結果について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察の結果を発表する。 <p>・布を3種類に分類する。 (織ってできた布、編んでできた布、固めてできた布)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観点にそって観察させる。 ・子どもたちのつづやきを広めていく。 ・調べた結果、気付いたことを各自記録する。 ・結果を出し合い、交流する。 ・布の特徴を話し合いながら生活の中のどんなところで使われているかについて話題にし、それぞれ特徴を生かして利用されていることに気付かせる。 ・特徴をもとに布を3種類に分類する。 ・3種類の布のでき方を教科書の資料を参照して、知らせる。 ・他にもたくさんの種類の布があることを知らせ、日常生活に布が欠かせない物になっていることに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・布(フェルト、不織布、ジャージ、メリス、メリ、デニム、) ・学習プリント ・表 ・教科書(織物の拡大写真)
終末 10	<p>4 本時のまとめと次時の予告</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">布には、織ってできた布、編んでできた布、固めてできた布があり、それぞれ特徴がある。布はその特徴を生かしてたくさんの場面で使われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の感想を書く。 	<p>布には、特徴があり、その特徴を生かして使用されていることが理解できたか。</p> <p>【知識・理解】 (学習プリント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布を使って作ってみたい物を話し合いながら、手縫いの他にもミシン縫いがあることを紹介する。 生活に役立つ小物を製作しようとする意欲を持つことができたか。【関心・意欲・態度】 (学習プリント) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリント

(3) 具体の評価規準

評価の観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 具体的な手だて
家庭生活への関心・意欲・態度	・身の回りで使われている布に関心を持ち、進んで布の特徴を調べ、生活に役立つ小物を製作しようとする意欲を持っている。	・身の回りで使われている布に関心を持ち、生活に役立つ小物を製作しようとする意欲を持っている。	・実際に布にふれることにより、布に関心を持たせる。
生活を創意工夫する能力	・布の特徴の調べ方を自分なりに考え、その特徴を予想することができる。	・布の特徴の調べ方を自分なりに考えることができる。	・友だちが見つけた調べ方から自分の調べたいことを選択させる。
家庭生活についての知識・理解	・布には特徴があり、その特徴を生かして使用されていることを理解し、具体的に身の回りの布についてその特徴を生かして使用されていることを考えている。	・布には特徴があり、その特徴を生かして使用されていることを理解している。	・友だちの発表を聞かせたり、教科書の図を提示したりして布の特徴について知らせる。

(4) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 作って楽しく使おう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 課題 布について発見しよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・折って ・さわって ・見て 	<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: 0 auto; height: 100px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 表 </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> まとめ 布には、織ってできた布、編んでできた布、固めてできた布があり、それぞれの特徴を生かしてたくさんの場面で使われている。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・織ってできた布 ・編んでできた布 ・固めてできた布